

ひと

加害者家族を支援するNPO理事長

あべ きょうこ
阿部 恭子 さん(39)



重大事件の加害者家族には自死する人が少なくない。相談できる専門の窓口がないことを知り、東北大学院で法律を学んでいた9年前、全国で初めて加害者家族の支援活動を始めた。

NPO法人「ワールド・オープン・ハート」(仙台市)を設立、苦しみや不安に耳を傾け、法的支援や被害者宅への同行、刑務所で面会、親子面談などもする。全国から寄せられた相談は計1千件。約50件が継続中だ。

「あいつの父親、人殺しだよ」。中学生の時、そう名指された男子について「あの子が怖い」と、憧れの塾の先生に相談した。「君は将来、自分の親と同じになるの?」。親が犯罪者だからと同一視

して差別した自分が恥ずかしくなった。その体験が根底にある。加害者家族は「自分がこうしていたら」と罪悪感や罪責感にさいなまれ、退職や転校を強いられる。誰にも言えない苦悩を抱え、隠れるように暮らす。「死にたい」と漏らし、感情をぶつけてくる。相談後に自死した人もいた。容易ではないが、最近やっと「逃げなければ無駄にはならない」と言えるようになった。支えは「命をつなぎとめたい」との思いだ。

「被害者支援が大切なのは言うまでもないが、加害者家族の存在と現状も認識してもらいたい。支援で家族が変われば、加害者にも影響を与え、再犯防止にもつながります」

文・写真 大久保真紀

若い移民 夢を奪

米の救済措置 6カ月後に



DACA(ダカ)

Deferred Action for Childhood Arrivals(幼少期に米国に到着した移民への執行延期措置)の略。オバマ前大統領が大統領権限で導入した。導入された2012年6月時点で31歳未満▽16歳になる前に米国に来た▽通学中や高校を卒業(または高卒認定)、米軍や沿岸警備隊から名譽除隊を受けたのいずれか▽重大犯罪で有罪となっていない、などの条件を満たせば、2年間は強制送還しない。更新も可能。

「夢を見て欲しい」と話す。ニューヨークのトランプタワー前で、抗議の声を上げていたホセ・ルイス・サントリアゴさん(21)が、両親に連れられてメキシコからフロリダ州に移り住んだのは9歳の時だった。両親は農園で働き、自分を育て



DACA撤廃でトランプ氏が目指すのは…

- 米国の再び偉大にする移民制度改革
- 移民に奪われた米国人の雇用を取り戻す
- 壁を建設して国境警備を強化
- テロリストの入国を防ぐ
- 技術を持つ移民を優先受け入れ

トランプ氏の主な移民政策

- 1月25日 メキシコ国境の壁建設を命じる大統領令
- 27日 中東・アフリカ7カ国の国民を一時入国禁止とする大統領令
- 2月13日 不法移民 680人以上逮捕と発表
- 21日 不法移民の強制送還対象を大幅拡大
- 9月 5日 移民救済制度「DACA」撤廃を発表



親に連れられ入国した不法移民の若者約80万人が強制退去の恐れ

「私は愛情と思いで来た。しかし、我々は、DACAを解決すると言った。職がなく苦悩する忘れられない」。トランプ氏は5日の声明でこう語った。

トランプ政権は、議会が夏季休暇から明けた初日にDACAの廃止を発表した。長文の声明と、制度の廃止を理論武装する資料を同時に出すなど、イスラム圏からの入国禁止の大統領令をいきなり出して混乱を招いた失敗に学び、周到な準備を見せつけた。

同様の法案を否決していたのに大統領の権限で独断で導入を決めたことなどを指摘。DACAの正当性に疑問符を投げかけた。

さらに、DACA導入後に不法移民の数が増えたことから「不法移民がDACAを利用して」と主張。不法移民の流入で不当労働が増え低賃金を招き、米国人の雇用を奪ったと訴えた。「不法移民の公平性を問う前に、米国の家庭や学生、納税者にとっての公平性が何なのかも問うべきだ」と、トランプ氏の熱心な支持層に向けてメッ

「議会が出来ないなら、私がこの問題を再検討するまでだ」。いざとなれば大統領権限で、移民制度に関する命令を出すことを示唆したとみられる。

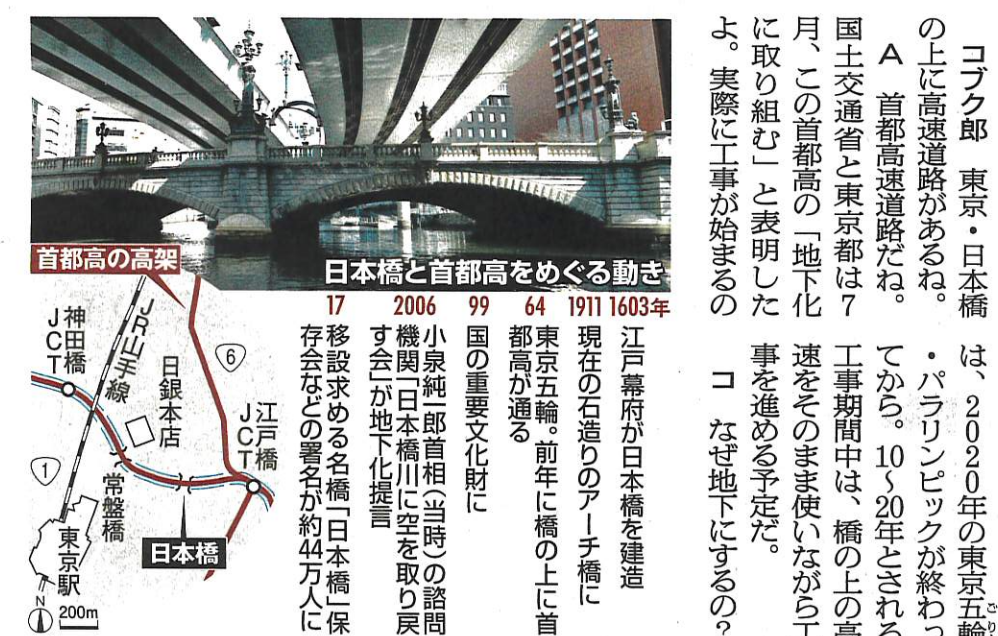
トランプ氏は5日、自身のツイッターでこう記した。「議会が出来ないなら、私がこの問題を再検討するまでだ」。いざとなれば大統領権限で、移民制度に関する命令を出すことを示唆したとみられる。

(ワシントン・ソウ佐茂生)

トランプ氏 議会に「米国第一」制度迫る

景観を嘆く声に 老朽化を機に五輪後に着工するよ

いから わかる! 東京・日本橋の首都高、地下になるの?



コブク郎 東京・日本橋は、2020年の東京五輪の上記に高速道路があるね。パラリンピックが終わってから、10、20年とされる国土交通省と東京都は7月、この首都高の「地下化に取り組み」と表明した。実際に工事が始まるの

コ なぜ地下にするの?

コ 空も見えないよ。

コ 地元住民から景観を嘆く声があがり、政府は15年ほど前から地下への移設を検討してきた。今になって決断したのは、12年に中央自動車道笹子トンネル(山梨県)で崩落事故が起きたのを機に、高速の老朽化対策が強く意識されるようになったこともあるんだ。

コ どんなやり方で地下に高速を通すの?

コ A 周辺には、地下鉄が何本も走っている。このため、06年に地下化を検討した際には、その上の浅い部

分を通る案が有力視された。この案を参考にしながら、具体的な計画を話し合うことになりそうだ。

コ お金がかかるね。

コ A 橋の上のまま新しい道路につけかえても工事費は約1400億円と見られるから、地下に移せば費用はさらにふくらむ。5千億円という試算が出されたこともあり、数千億円規模になると言われている。

コ だれが出すの?

コ A 支払う責任は、運営する首都高道路会社にある。でも、会社だけでなく、なに払えないから、費用をどう出し合つか、国や都などで相談していくことになる。通行料が上がったり税金から多く賄われたりしないよう、費用を抑えることも考えないとね。(岡戸佑樹)

2017・9・7 ■質問のテーマを募っています。あて先は wakaru@asahi.com

新潮 2017 今年113年目の文芸誌 新潮社 特別定価980円(税込)

新連載 キュー

文藝界 10月号 定価970円(税込) 文藝春秋

読書の秋に贈る大型特集 死ぬまでに絶対読みたい大長篇 読み巧者たちが指南する、挫折しないための完全保存版ガイド

群像 2017 10 GUNZO 講談社

http://gunzo.kodansha.co.jp/ http://twitter.com/gunzo_henshubu 定価980円(税込)

中篇146枚 西村賢太「夜更けの」